

# 令和4年度事業報告

一般社団法人 日本舶用機関整備協会

## 第1 組織の概要

### 1. 会員

令和4年度末現在の会員は、次のとおりである。

正会員	549社	うち 整備業会員	533社
		製造会員	16社
賛助会員	29団体・個人	うち 団体	21団体
		個人	8人

〔 令和4年度の入退会は、入会10（正会員 10社）  
退会13（正会員 12社、賛助会員 1人） 〕

### 2. 役員

令和4年度末現在の役員は、会長1名、副会長4名、専務理事1名、理事26名（理事総数32名）、監事2名及び顧問2名である。（役員名簿参照）

### 3. 委員会等

本協会の事業を実施するため、次の委員会を設置している。

- (1) 政策委員会(委員14名)
- (2) 舶用機関整備士資格検定委員会(委員15名)
- (3) 舶用機関整備士資格検定講習小委員会(委員11名)
- (4) 業務委員会(委員15名)

### 4. 事務局

令和4年度末の事務局の概要は、次のとおりである。

#### (1) 所在地

東京都千代田区神田岩本町4番地9 トウルム神田 8階  
電 話：03-3256-0141  
FAX：03-3256-0140

#### (2) 組織

専務理事 渡邊 元尚  
事務局長(兼) 渡邊 元尚

(総務部)

部 長 河村 浩二

- 1 庶務に関すること。
- 2 総会、理事会及び政策委員会に関すること。
- 3 予算及び決算に関すること。
- 4 事業計画及び事業報告に関すること。
- 5 会員及び会費に関すること。
- 6 経理、給与等に関すること。
- 7 文書、公印、規程等の管理に関すること。

(技術部)

部 長 鈴木 雅裕  
専任部長(兼) 正一 喜男  
大下 さや香

- 1 舶用機関整備士の資格検定に関すること。
- 2 舶用機関整備業の技術の向上に関すること。
- 3 舶用機関の技術の改善に関すること。
- 4 舶用機関整備士資格検定委員会及び講習小委員会に関すること。

(業務部)  
部長 正一 喜男

- 1 船用機関整備業界の振興に関する調査研究に関する  
こと。
- 2 船用機関整備業の振興に関する情報及び広報に関する  
こと。
- 3 支部との連絡調整に関すること。
- 4 業務委員会に関すること。

## 第2 事業の概要

### 1. 船用内燃機関整備技術者認証機関証明

「船用内燃機関整備技術者認証機関証明」は、機関故障に基づく海難防止等に係わる啓蒙を含めた船用機関の整備技術者の能力・知識・技術水準の維持を目的として事業団が行っている認証制度を評価・証明しようとするものです。

当協会の行う船用機関整備士の資格検定事業は、国土交通省の審査の結果、まさしくこの認証制度に該当する国土交通省の定める基準を満足するとされ、平成27年に認定取得、令和2年1月に認定が更新されています。

当協会としては、引き続き今後発行する船用機関整備士資格証明書及び船用機関整備士証に、「この資格は、国土交通省により「船用内燃機関整備技術者認証機関」としての証明を受けた制度に基づき認定されている。」旨を明記するほか、船用機関整備士資格が「国土交通省公認の資格」であること、船用機関整備士の認知度が高まるよう、資格者バッジ、ヘルメットシール、名刺シールを配付、ホームページ、会報等の発行物、その他多くの媒体・機会を利用して今後とも「船用機関整備士資格」をPRして参ります。

### 2. 「船用機関整備士」の資格検定【日本財団助成事業】

船用機関整備技術者に対して講習会及び検定試験を実施することにより、知識と技量を備えた「船用機関整備士」を育成し、船用機関整備技術者の技術レベルの向上を図った。

#### (1) 委員会等の開催

船用機関整備士資格検定事業の実施計画、講習内容、試験問題、合否判定等を審議するため、「船用機関整備士資格検定委員会」を5回、「講習小委員会」を3回開催した。

- |           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 4月5日(火)   | 第1回船用機関整備士資格検定委員会、第1回講習小委員会 |
| 7月12日(火)  | 第2回船用機関整備士資格検定委員会、第2回講習小委員会 |
| 9月20日(火)  | 第3回船用機関整備士資格検定委員会           |
| 12月13日(火) | 第4回船用機関整備士資格検定委員会           |
| 2月14日(火)  | 第5回船用機関整備士資格検定委員会、第3回講習小委員会 |

#### (2) 指導書(テキスト)及び問題集の作成

- ① 新規講習会で使用する1～3級船用機関整備士の指導書及び問題集の令和3年度版を見直して令和4年度版を作成した。
- ② 更新講習会で使用する指導書(各級で共通使用)を作成した。
- ③ 3級の指導書を水産高校、水産系大学及び海員養成学校に送付した。

#### (3) 資格検定新規講習会の開催

検定試験の受験者を対象に資格検定新規講習会を下表のとおり実施した。

- ① 1級船用機関整備士新規講習会を下記の6会場で開催、63名が受講した。

地区	実施場所(会場)	受講者数	開催日
----	----------	------	-----

北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	6	6月 1日(水)～ 6月 3日(金)
関東	横浜市 (波止場会館)	6	5月11日(水)～ 5月13日(金)
近畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	15	6月 1日(水)～ 6月 3日(金)
中国	広島市 (RCC文化センター)	11	5月25日(水)～ 5月27日(金)
九州	福岡市 (福岡商工会議所)	23	5月25日(水)～ 5月27日(金)
沖縄	那覇市 (沖縄船員会館)	2	6月 1日(水)～ 6月 3日(金)
合 計		63	

② 2級船用機関整備士新規講習会を下記8会場で開催、97名が受講した。

地区	実施場所 (会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	11	10月 6日(木)～10月 7日(金)
東北	仙台市 (東北港運会館)	6	9月29日(木)～ 9月30日(金)
関東	横浜市 (波止場会館)	12	10月 5日(水)～10月 6日(木)
近畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	20	10月13日(木)～10月14日(金)
中国	広島市 (RCC文化センター)	9	9月29日(木)～ 9月30日(金)
四国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	11	10月13日(木)～10月14日(金)
九州	福岡市 (福岡商工会議所)	25	9月29日(木)～ 9月30日(金)
沖縄	那覇市 (沖縄船員会館)	3	9月15日(木)～ 9月16日(金)
合 計		97	

③ 3級船用機関整備士新規講習会を下記10会場で開催、174名が受講した。

地区	実施場所 (会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	14	9月29日(木)～ 9月30日(金)
東北	仙台市 (東北港運会館)	9	10月12日(水)～10月13日(木)
関東	横浜市 (波止場会館)	21	9月28日(水)～ 9月29日(木)
中部	名古屋市 (名古屋港湾会館)	5	9月 8日(木)～ 9月 9日(金)
近畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	27	9月15日(木)～ 9月16日(金)
中国	広島市 (RCC文化センター)	21	9月 8日(木)～ 9月 9日(金)
四国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	18	9月15日(木)～ 9月16日(金)
九州	福岡市 (福岡商工会議所)	44	10月 6日(木)～10月 7日(金)
	長崎市 (長崎バスターミナルホテル)	10	10月13日(木)～10月14日(金)
沖縄	那覇市 (沖縄船員会館)	5	10月 6日(木)～10月 7日(金)
合 計		174	

(4) 検定試験の実施

資格検定新規講習会受講者に対して学科試験及び実技試験を実施し、合格者にその資格を取得したことを証明する資格証明書 (有効期間4年) を交付した。

① 1級船用機関整備士資格検定学科試験を6月24日に下記6会場で実施した。受験者は昨年度の新規講習会受講者を含め71名で、46名が合格した。

地区	実施場所 (会場)	受験者数
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	6
関東	横浜市 (波止場会館)	11
近畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	16
中国	広島市 (RCC文化センター)	12

九州	福岡市（福岡商工会議所）	24
沖縄	那覇市（沖縄船員会館）	2
	合 計	71

- ② 1級船用機関整備士資格検定実技・面接試験を、上記学科試験合格者と令和3年度学科試験合格者の内54名に対し下記3会場で実施し、9月20日開催の船用機関整備士資格検定委員会において審議の結果、51名が合格した。

実施場所（会場）	受験者数	開催日
相模原市（三菱重工相模原技能訓練センター）	11	8月18日（木）
長浜市（ヤンマー(株)グローバル研修センター）	15	8月18日（木）
福岡市（ヤンマー船用システム(株)九州営業部）	28	8月25日（木）・26日（金）
合 計	54	

- ③ 2級・3級船用機関整備士資格検定試験（学科・実技）を11月18日に下記9会場で実施し、12月13日開催の船用機関整備士資格検定委員会において審議の結果、2級は104名の受験者のうち83名が、3級は173名の受験者のうち157名が合格した。

地 区	実施場所（会場）	受験者数	
		2級	3級
北海道	小樽市（小樽市民センター）	9	14
東北	仙台市（東北港運會館）	8	8
関東	横浜市（波止場會館）	13	20
中部	名古屋市（名古屋港湾會館）	—	5
近畿	大阪市（大阪府立労働センター）	22	25
中国	広島市（RCC文化センター）	12	29
四国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	9	18
九州	福岡市（福岡商工会議所）	28	49
沖縄	那覇市（沖縄船員会館）	3	5
	合 計	104	173

(5) 資格更新講習会

資格証明書の有効期間（4年間）が満了する平成29年度・平成30年度資格取得者及び資格有効期間更新者を対象に資格更新講習会を実施し、「船用機関整備士」としての知識及び技量を維持していることの確認を行った。

- ① 1級機関整備士資格更新講習会を下記11会場で開催し、223名が資格を更新した。

地 区	実施場所（会場）	受講者数	開催日
北海道	小樽市（小樽港湾センター）	12	5月20日（金）
	釧路市（釧路港湾福利厚生會館）	18	5月26日（木）
東北	仙台市（東北港運會館）	22	6月2日（木）
北陸	新潟市（新潟ユニゾンプラザ）	11	5月12日（木）
関東	横浜市（波止場會館）	15	6月8日（水）
近畿	大阪市（大阪府立労働センター）	44	5月27日（金）
中国	広島市（RCC文化センター）	17	5月13日（金）
四国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	24	6月3日（金）
	長崎市（長崎バスターミナルホテル）	2	5月19日（木）

九州	福岡市（福岡商工会議所）	46	6月13日（月）
沖縄	那覇市（沖縄水産会館）	12	6月10日（金）
合 計		223	

- ② 2級・3級船用機関整備士資格更新講習会（合同講習会）を下表のとおり19会場で開催し、2級は127名、3級は147名が資格を更新した。

地 区	実施場所（会場）	受講者数		開催日
		2級	3級	
北海道	稚内市（稚内港湾施設株）	5	0	9月15日（木）
	函館市（函館工業会館）	2	2	10月27日（木）
	釧路市（釧路港湾福利厚生会館）	3	3	10月13日（木）
	小樽市（小樽港湾センター）	4	3	10月 5日（水）
東北	仙台市（東北港運会館）	10	13	9月28日（水）
北 陸	新潟市（新潟ユニオンプラザ）	0	7	10月14日（金）
	七尾市（七尾商工会議所）	0	4	9月29日（木）
関 東	横浜市（波止場会館）	14	19	10月 4日（火）
中 部	静岡市（清水テルサ）	3	7	11月25日（金）
	名古屋市（名古屋港湾会館）	4	4	11月11日（金）
	鳥羽市（鳥羽商工会議所）	4	4	9月16日（金）
近 畿	大阪市（大阪府立労働センター）	15	16	10月12日（水）
中 国	広島市（RCC文化センター）	10	12	9月28日（水）
四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	15	14	10月12日（水）
	今治市（今治ヤンマー株）	4	1	10月 6日（木）
九 州	福岡市（福岡商工会議所）	13	19	9月28日（水）
	長崎市（長崎バスターミナルホテル）	7	5	9月 8日（木）
	大分市（大分県中小企業会館）	6	9	11月10日（木）
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	8	5	9月14日（水）
合 計		127	147	

### 3. 技術講習会の実施【自主事業】

比較的経験の浅い船用機関整備従業員を対象に、ノギス、マイクロメータ等の計測基礎の実技講習会を4箇所で開催した。

No.	開催地	開催日	受講者
1	那覇市 沖縄船員会館	7月29日（金）	10
2	福岡市 福岡商工会議所	10月21日（金）	10
3	広島市 RCC文化センター	10月25日（火）	15
4	那覇市 沖縄船員会館	11月27日（木）	9

### 4. 小型船舶の機関事故防止推進【自主事業】

- (1) 機関事故防止講習会の開催

小型船舶の機関事故を防止するため海上保安庁等と連携して機関事故防止の講習会を9回開催した。

No.	主催者（協力機関）	開催地	開催日	参加者	対象
1	今治市（今治地域造船技術センター）	今治市 今治造船㈱会議室	6月3日（金）	69	造船関連企業新入社員
2	海上保安庁	横浜市 第三管区海上保安本部横浜海上防災基地	6月7日（火）	20	海保全管区 担当職員
3	第十一管区海上保安本部	那覇市 那覇港湾合同庁舎	7月28日（木）	48	管区海上保安庁職員、旅客船運航管理者、漁船保険組合、県漁連、マナー管理者
4	北海道運輸局	札幌市 札幌第2合同庁舎	11月4日（金）	36	旅客船不定期運行事業者、人の運送を行う不定期航路届出事業者
5	第六管区海上保安本部	広島市 広島港湾合同庁舎	12月10日（土）	19	海上安全指導員（民間）、海保担当職員
6	九州運輸局	福岡市 福岡合同庁舎	2月24日（金）	28	許可・届出事業者、登録事業者（九州全域）
7	北陸信越運輸局	新潟市 新潟ユニゾンプラザ	3月6日（月）	55	安全統括管理者及び運航管理者、運航管理業務従事者
8	姫路ヨット協会	姫路市 木場ヨットハーバー	3月18日（土）	23	ヨット協会会員 マリナー契約者及び利用者
9	鳥取県立境港総合技術高等学校	境港市 左記校舎	3月23日（木）	23	左記高校1、2年生生徒及び教職員

## 5. 機関整備業務の活性化推進

### (1) 漁船保険関係機関との連携

日本漁船保険組合が実施する事故防止対策事業に協力するとともに、当協会が実施する機関事故防止講習会の開催等の事業の実施に関する協力要請を行った。

### (2) 支部・地方船用工業会との連携

#### ① 支部との連携

全国11ブロックにおいて開催された支部総会に本部役員が出席し、会員との情報交換・意見交換を行うとともに、各種事業や会員の入会促進等の活動を通じて支部の活性化を図った。

#### ② 地方船用工業会との連携

4月に全国の地方船用工業会事務局長との会議を開催し、令和4年度に実施する「小型船舶の機関事故防止推進事業」及び「船用機関整備士資格検定事業」等について説明するとともに支援協力依頼を行い、各地方船用工業会の現況等について情報交換・意見交換を行った。

### (3) アスベスト対策

令和3年4月以降順次、鋼製船舶の解体・改修工事の際に石綿障害予防規則等の法令に基づき、アスベスト含有の有無を調べる「事前調査」をはじめとして各種の規制がなされている。特に令和5年10月1日からは上述の「事前調査」を行う者には一定の資格が要求されることとなる。

（一財）日本船舶技術研究協会（船技協）がこの資格習得のための講座を令和5年1月から3月まで開催した。当協会は地方船用工業会と共に本講座開催の協力をするとともに当協会会員に対して講座に関する広報活動を行った。

## 6. 経営基盤の強化

日本財団の造船関係事業資金貸付制度を利用して、資金の借入を希望する会員に対して、申請手続きの相談を行うとともに、申請する会員に対し団体証明を行った。  
今年度については、造船関係事業設備資金1件融資を受けることとなった。

## 7. 広報・宣伝等の推進

- (1) 会報「整備協会報」107号、108号、109号、110号を発行した。また、協会ホームページの更新を行うとともに、会員向けに毎月のスケジュールその他各種の情報をメールで提供した。
- (2) 全国水産高等学校長協会と連携し、12月に開催された「令和4年度第4回全国水産・海洋高等学校マリンロボットコンテスト」を後援し、審査員を派遣するとともに愛知県立三谷水産高等学校の作品に対し、今後一層の活躍を期待し会長特別賞を贈り表彰した。

## 8. 優良機関整備士の表彰

船用機関整備士の社会的地位及び技能水準の向上を図ることを目的として、優良船用機関整備士の会長表彰を行った（受賞者17名）。

## 9. 叙位・叙勲・大臣表彰等

- (1) 会員の方々が国から叙位・叙勲を賜りました。

(役職は受賞時)

正六位（令和4年6月16日）

小野寺 忠 義 元(株)小野寺鐵工所 会長

従六位（令和5年2月8日）

旭日双光章

都 甲 安 信 元西日本エンジニアリングサービス(株) 会長（元当協会副会長）

瑞宝中綬章（春）

岡 田 博 東京海洋大学 名誉教授  
（当協会船用機関整備士資格検定委員会委員長）

旭日双光章（秋）

鈴 木 晴 夫 (有)共栄鉄工所 代表取締役社長

長 岩 廣 明 共和鉄工(株) 代表取締役会長

- (2) 令和4年「海の日」にあたり、海事功労、永年勤続及び統計調査・発明考案等の功績に対して表彰が行われ、当協会会員の中から次のとおり国土交通大臣表彰9名（海事功労5名、発明・考案1名、永年勤続3名）、地方運輸局長等表彰40名（海事功労9名、永年勤続30名、マリンエキスパート（ジュニア）1名）の合計49名のみなさまが表彰の栄に浴しました。

(役職は受賞時)

国土交通大臣表彰（海事功労）

足 立 守 根室造船(株) 代表取締役

長 井 文 夫 長井船舶 代表者

冠 康 秀 今治ヤンマー(株) 代表取締役社長

河 上 敏 久 河上船舶機器(株) 取締役会長

渡眞利 敏 (株)沖繩機械整備 代表取締役社長

国土交通大臣表彰(発明・考案)

本 瓦 誠 本瓦造船(株) 代表取締役社長

国土交通大臣表彰(永年勤続)

小野寺 聡 一 (株)小野寺鐵工所 技術部サービス課課長

佐 藤 勝 也 宮城ヤンマー(株) マリン事業本部技術部マリン技術課係長

松 田 寿 一 (有)八幡鉄工所 工場長

運輸局長(監理部長)表彰受賞者(海事功労)

北海道運輸局長

高 山 則 夫 函東工業(株) 代表取締役

原 洋 釧路重工業(株) 代表取締役

東北運輸局長

関 根 武 裕 新江メンテック(株) 取締役

関東運輸局長

本 橋 儀 一 本橋発動機(株) 代表取締役会長

神戸海運監理部長

廣 瀬 勝 ヤンマーパワーテクノロジー(株) 取締役特機事業部長

中国運輸局長

柏 原 薫 スター工業(有) 代表取締役社長

九州運輸局長

井 筒 龍 介 (株)井筒造船所 代表取締役会長

竹 田 健 一 島原ドック協同組合 理事兼営業部長

運輸局長(監理部長)表彰受賞者(永年勤続)

北海道運輸局長

武 田 泰 成 敷島機器(株) 札幌支店支店長

久保田 千恵子 敷島機器(株) 業務部係長

濱 道 直 輝 敷島機器(株) 函館支店支店長代理

黒 川 光 信 稚内港湾施設(株) 嘱託職員



東北運輸局長

吉原秀典 新江メンテック(株) 取締役

関東運輸局長

中居等 (株)I H I 原動機 太田工場 機械G 職長

近畿運輸局長

安原一良 ダイハツディーゼル(株) 製造部機械第1課クランク班

川淵稔 勝浦船渠(株) 船舶部門主任

神戸運輸監理部長

奥野嘉久 ヤンマーパワーテクノロジー(株) 特機事業部 生産技術部  
作業技術第一グループ マイスター

山本博昭 阪神内燃機工業(株) 生産管理部 生産管理課 資材係係長

赤瀬和久 (株)I H I 原動機 相生事業所 船用事業部 大型原動機統括部  
製造部 組立グループ

中国運輸局長

渡邊久記 向島ドック(株) 現業グループ トランスチーム

高地博 向島ドック(株) 現業グループ 仕上チーム サブリーダー

宮地孝一 内海造船(株) 管理本部総務部長 兼 内部監査室

岩本隆司 内海造船(株) 修繕船事業修繕部船体工事課長

田中章吉 (株)三和ドック 資材部資材課倉庫係

巻幡真輔 (株)三和ドック 船体部船体課クレーン班

梶尾義和 ナカシマプロペラ(株) 執行役員 営業本部本部長

岡田善久 ナカシマプロペラ(株) 執行役員 エンジニアリング 部本部長

山磨敏夫 ナカシマプロペラ(株) コンポジット事業部部長

石原豊史 ナカシマプロペラ(株) 営業本部国内営業部福岡営業所  
営業グループ次長

河合哲也 ナカシマプロペラ(株) コンポジット事業部前任班長代理

阿曾浩 ナカシマプロペラ(株) 製造本部岡山工場製造部  
加工グループ仕上職場仕上3班班長

松下真也 ナカシマプロペラ(株) コンポジット事業部班長

#### 四国運輸局長

田 邊 武 夫	(株)新来島どっく	大西工場艀装工作部機装課機装係担当係長
吉 田 浩 二	(株)新来島どっく	大西工場艀装工作部船装課 船装係第2銅工職長

#### 九州運輸局長

松 永 和 彦	島原ドック協業組合	業務部機関課班長
前 田 耕 平	島原ドック協業組合	業務部船体課塗装班
柳 村 和 幸	長崎マリンサービス(株)	取締役工務部部長
馬 場 栄 次	長崎マリンサービス(株)	工務部部長

#### 運輸局長(監理部長)表彰受賞者(マリンエキスパート・ジュニア)

#### 神戸運輸監理部長

藤 井 一 平	阪神内燃機工業(株)	サービス部 サービス課
---------	------------	-------------

### 第3 会議等の開催

#### 1. 総会

##### 第11回定時総会

開催時期	6月22日(水)	東京：ホテル ルポール麹町 ルビー
審議事項	・令和3年度事業報告及び決算報告について ・令和4年度事業計画及び収支予算について ・2023年度日本財団助成金の申請権限を理事会に委任することについて ・役員を選任について	

#### 2. 理事会

##### ① 第21回通常理事会

開催時期	5月26日(木)	東京：日本財団ビル会議室
審議事項	・令和3年度事業報告及び決算報告について ・令和4年度事業計画及び収支予算について ・規程の改正について ・会員の入退会について ・優良舶用機関整備士表彰について ・第11回定時総会の招集について	
報告事項	・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について	

##### ② 臨時理事会

開催時期	6月22日(水)	東京：ホテル ルポール麹町 ルビー
審議事項	・会長、副会長及び専務理事の選定について ・副会長の会長代行順位の決定について ・顧問の委嘱について	

##### ③ 第22回通常理事会

開催時期 10月19日(水) 東京：八重洲倶楽部  
審議事項 ・日本財団に対する2023年度助成金の申請について  
・諸規程の改正について  
・会員の入退会について  
報告事項 ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について

### 3. 委員会等

① 第1回船用機関整備士資格検定委員会・第1回講習小委員会

開催時期 4月5日(火) 東京：日本財団ビル  
審議事項 ・令和4年度2・3級船用機関整備士資格検定の実施について  
・令和4年度2・3級船用機関整備士資格有効期間更新の実施について

② 地方船用工業会事務局長会議

開催時期 4月7日(木) 東京：虎ノ門東洋共同ビル  
審議事項 ・令和3年度事業報告(案)及令和4年度事業計画(案)について  
・技術講習会等の開催状況について  
・船用機関整備士資格検定等の開催事業について

③ 第54回政策委員会

開催時期 4月19日(火) 東京：八重洲倶楽部  
審議事項 ・令和3年度事業報告(案)及び決算公告(案)について  
・令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について  
・会員の入退会の状況について  
・優良船用機関整備士表彰について

④ 第2回船用機関整備士資格検定委員会・第2回講習小委員会

開催時期 7月12日(火) 東京：日本財団ビル  
審議事項 ・令和4年度1級船用機関整備士資格検定試験(学科)の結果について  
・令和4年度1級船用機関整備士資格検定試験(実技・面接)の案内について

⑤ 第3回船用機関整備士資格検定委員会

開催時期 9月20日(火) 東京：日本財団ビル  
審議事項 ・令和4年度1級船用機関整備士資格検定試験の結果について  
・令和4年度1級船用機関整備士資格更新の結果について

⑥ 第4回船用機関整備士資格検定委員会

開催時期 12月13日(火) 東京：日本財団ビル  
審議事項 ・令和4年度2・3級船用機関整備士資格検定試験の結果について  
・令和4年度2・3級船用機関整備士資格更新の結果について

⑦ 第44回業務委員会

開催時期 1月17日(火) 東京：八重洲倶楽部  
審議事項 ・令和4年度事業の実施状況について  
・サービスステーション制度活用実績について  
・船用機関整備士資格延長の特例措置について  
・船舶における石綿障害予防規制について

- ⑧ 第5回船用機関整備士資格検定委員会・第3回講習小委員会  
 開催時期 2月14日(火) 東京：日本財団ビル  
 審議事項 ・令和5年度船用機関整備士資格検定事業実施計画について  
 ・令和5年度1級船用機関整備士資格検定の実施について  
 ・令和5年度1級船用機関整備士資格有効期間更新の実施について

#### 4. 支部活動

北海道	通常総会	7月1日(金)	小樽	おたる政寿司
	機関事故防止講習会	11月4日(金)	札幌	札幌第2合同庁舎
東北	通常総会	6月17日(金)	仙台	仙台サンプラザ
北陸	通常総会	6月10日(金)	・・・書面決議にて実施	
関東	機関事故防止講習会	6月7日(火)	横浜	第3管区海上保安本部横浜海上防災基地
	通常総会	7月15日(金)	・・・書面決議にて実施	
中部	通常総会	6月20日(月)	名古屋	港湾会館
	愛知県船用機関整備業協会総会	7月4日(月)	名古屋	港湾会館
	三重県船用機関整備士協会総会	7月7日(木)	伊勢	伊勢ホテル
	中部支部役員会	12月5日(月)	名古屋	名古屋港湾会館
	船舶検査動向等打合会	12月5日(月)	名古屋	名古屋港湾会館
神戸	通常総会	7月8日(金)	・・・書面決議にて実施	
中国	通常総会	7月11日(月)	広島	ホテルグランヴィア広島
	技術講習会	10月25日(火)	広島	RCC文化センター
	機関事故防止講習会	12月10日(土)	広島	広島港湾合同庁舎
四国	機関事故防止講習会	6月3日(金)	今治	今治造船(株)会議室
	通常総会	6月24日(金)	高松	ホテルマリンパレスさぬき
	船舶検査動向等打合会	6月24日(金)	高松	ホテルマリンパレスさぬき
九州	通常総会	7月28日(木)	熊本	ホテルメルパルク熊本
	技術講習会	10月21日(金)	福岡	福岡商工会議所
沖縄	通常総会	7月22日(金)	那覇	沖縄船員会館
	機関事故防止講習会	7月28日(木)	那覇	那覇港湾合同庁舎
	技術講習会	7月29日(金)	那覇	沖縄船員会館
	技術講習会	11月27日(木)	那覇	沖縄船員会館